

## 社会福祉法人 大田幸陽会

### 平成 26 年度 法人本部 事業報告

#### 1 評議員会の開催

- 第 1 回 平成 26 年 5 月 27 日 (火) 審議件数 5 件 報告件数 3 件
- 第 2 回 平成 26 年 10 月 30 日 (木) 審議件数 6 件 報告件数 2 件
- 第 3 回 平成 27 年 3 月 25 日 (水) 審議件数 17 件 報告件数 6 件

#### 2 理事会及び理事懇談会の開催

- 第 1 回 平成 26 年 5 月 27 日 (火) 審議件数 5 件 報告件数 7 件
- 第 2 回 平成 26 年 7 月 4 日 (金) 審議件数 2 件 報告件数 1 件
- 第 3 回 平成 26 年 7 月 29 日 (火) 審議件数 1 件 報告件数 1 件
- 第 4 回 平成 26 年 10 月 30 日 (木) 審議件数 5 件 報告件数 3 件
- 理事懇談会 平成 27 年 2 月 3 日 (火) 報告件数 4 件
- 第 5 回 平成 27 年 3 月 25 日 (水) 審議件数 17 件 報告件数 7 件
- 第 6 回 平成 27 年 3 月 26 日 (木) 審議件数 1 件

#### 3 定款変更、規則、規程等の制定施行及び改正等 20 件

- (1) 相談支援室さんさん幸陽運営規程一部改正 (平成 26 年 4 月 1 日施行)
- (2) ケアサポート幸陽運営規程一部改正 (平成 26 年 4 月 1 日施行)
- (3) ケアサポート幸陽運営規程(居宅)一部改正 (平成 26 年 4 月 1 日施行)
- (4) 障害者生活ホーム運営規程一部改正 (平成 26 年 11 月 1 日施行)
- (5) 嘱託職員就業規則一部改正 (平成 26 年 4 月 1 日施行)
- (6) 定款変更 (第 3 回評議員会・第 5 回理事会承認)
- (7) 組織規程改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (8) 法人本部規程制定 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (9) 経理規程全面改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (10) まごめ園運営規程一部改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (11) さわやかワークセンター運営規程一部改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (12) 相談支援室さんさん幸陽運営規程一部改正 (平成 27 年 2 月 1 日施行)
- (13) 契約職員就業規則一部改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (14) 非常勤職員就業規則一部改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (15) 旅費規程一部改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (16) 大田区立新井宿福祉園運営規程一部改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (17) 大田区立池上福祉園運営規程一部改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (18) 大田区立大森東福祉園運営規程一部改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (19) 大田区立しいのき園運営規程一部改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (20) のぞみ園運営規程一部改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)

4 組合登記令による法人登記

資産総額 1,535,120,221 円⇒1,550,446,589 円 平成 26 年 5 月 29 日登記

5 職員等の採用・退職等

	合計	正規・嘱託等	契約職員	非常勤職員
施設長等の採用	1	1		
職員採用	38	9	6	23
採用計	39	10	6	23
施設長等退職	0	0		
職員退職	31	13	2	16
退職計	31	13	2	16

6 昇格選考

・平成 26 年 12 月 20 日（土）10 時～筆記試験・13 時～面接試験

区 分	3 等級昇格試験	4 等級昇格試験
A 有資格者	19 人	2 人
B 受験申込者	8 人	2 人
C 受験率	42.1%	100.0%
D 受験者	8 人	2 人
E 合格者	7 人	2 人
F 合格率 (E/D)	87.5%	100.0%

7 今年度重点目標事業の推進状況

1) 利用者の人権擁護と地域の中での自立支援

- ① 利用者支援の基盤となる台帳等法人共通様式を整備し、事例検討につなげた。
- ② 相談支援事業としての個人情報保護の取り扱いについて検討し、同意書類の整備と併せ、情報共有ツールの運用見直しや IT(情報技術)環境の安全性を高める取組を進めた。
- ③ さんさん幸陽と法人内事業所間の連携により、上半期(4月～9月)は、計画相談等 86 件、モニタリング 51 件、計 137 件の支援を行った。  
下半期は、通所 7 事業所のうち資格講習の条件が整った 3 事業所から相談支援専門員等の兼任配置を行い取り組んだ結果、通年では計画相談等 217 件、モニタリング 168 件、計 385 件の支援に結びついた。
- ④ 障害者生活ホームにおける成年後見制度の利用状況は、今期成立 1 件、申請準備中 1 件、利用中 6 件であった。

⑤ 人権及び虐待防止に関する研修を各事業所において実施した。

- ・さんさん幸陽：人権に関する内部研修 1 回、虐待防止に関する外部研修 2 回
- ・のぞみ園：人権及び虐待防止に関する内部研修 2 回
- ・まごめ園：同上 3 回
- ・さわやかワーク：同上 1 回、虐待外部研修 1 回
- ・しいのき園：同上 3 回
- ・新井宿福祉園：同上 5 回
- ・池上福祉園：人権内部研修 1 回、虐待防止内部研修 1 回
- ・大森東福祉園：人権及び虐待防止に関する内部研修 3 回、  
虐待防止に関する内部研修 1 回
- ・つばさホーム：人権及び虐待防止に関する内部研修 1 回
- ・生活ホーム：人権内部研修 3 回、虐待防止内部研修 1 回

2) サービスの質の向上

- ① 「サービス提供ガイドライン」を5月の第1回理事会で報告後運用開始。全7領域35項目137ポイントについて、全事業所職員によるセルフチェックを6月実施。各事業所の人権PTが中心となり、9月以降、集計結果を研修の素材として活用し各職員へのフィードバックを進めるとともに、次年度事業計画の重点課題としてフィードバックする作業に各事業所で取り組んだ。
- ② 利用者と苦情解決第三者委員との懇談の機会を6月17日(火)のぞみ園で設け、利用者が何でも相談ができる雰囲気作りに取り組んだ。
- ③ 福祉サービス第三者評価を下記の事業所で受審し、結果の公表を行った。
  - ・のぞみ園(日本コンサルティング(株))
  - ・大田区立新井宿福祉園(特定非営利活動法人 福祉経営研究会)
  - ・大田区立池上福祉園(特定非営利活動法人 NPO 人材開発機構)

3) 人材育成

- ① 第12回法人全体研修会を7月12日(土)、大田幸陽会会館で開催した。
- ② 発達障害・行動障害への支援力を高めていくため、今年度のテーマ研修として自閉症療育を取り上げ、(社福)横浜やまびこの里見学会を支援係長会で企画。年4回(7月、9月、11月、2月)実施し、延べ47名の職員参加を得た。
- ③ 新任職員研修について「人権・権利擁護」「強度行動障害」の項目を拡充し、内容の充実を行った。

④ 主な階層別研修計画と実績は下表の通り。

	講座 1	講座 2	講座 3	講座 4
3・4 等級	○リーダースhipと組織管理 ○コーチングとコミュニケーション 7/29実施	○SWOT分析を学ぶ① 9/22実施	○SWOT分析② 11/28実施	○SWOT分析③ 1/16実施
3等級 (今年度 昇格者)				
講師：久保田義徳氏 (株)川原経営総合センターコンサルタント				
2等級	○「利用者主体の支援をめざして」 講師：鈴木敏彦氏(和泉短大教授) 1/5実施			
1等級 契約職員	○「援助技術を高めよう」10/16実施 講師：池田賢一氏 (現おおいそ学園・前中井やまゆり園寮長)			
新任職員	○「交流研修」 10/15実施			
	事例検討会 1		事例検討会 2	
3・4等級	全体研修会事例検討グループで実施 第1～4 (11/19)・第5～8 (11/20) 第9～12 (11/26)・第13～15(12/2)		全体研修会事例検討グループで実施 第1～4(12/4)・第5～8(12/5) 第9～12(12/8)・第13～15(12/15)	
2等級				
1等級 契約職員				

4) 安全安心な事業所運営

- ① 法人共通「危機管理マニュアル」が整い6月各事業所配布を完了し、運用を開始した。
- ② 法人共通「支援マニュアル」の整備を支援係長会に担当部会を設け検討を開始した。
- ③ 防災訓練・災害時想定訓練は事業所毎に計画的に実施している他、まごめ園、しいのき園、さわやかワークセンターでは地域の防災訓練に参加をしている。また、のぞみ園・まごめ園では、前年度末に整備した福祉避難所開設準備のための備蓄倉庫への備蓄備品等準備を大田区と協議し、まごめ園は発電機、階段避難車等、のぞみ園は発電機、蓄電池等の設備整備を行った。

5) 地域社会との連携・交流並びに地域貢献の取り組み

- ① 福祉実習学生・社会人研修等を受け入れを積極的に行い、下表のとおり法人全体で延べ124名927日間の福祉人材育成に貢献した。

主な実習名	のぞみ	まごめ	さわやか	しいのき	新井宿	池上	大森東	合計
社会福祉士	—	—	—	12名 183日	6名 109日	9名 155日	2名 48日	29名 495日
教職員 介護等体験	4名 20日	7名 35日	—	9名 45日	10名 50日	22名 110日	9名 45日	61名 305日
人事院 介護等実地	3名 15日	3名 15日	3名 9日	—	—	9名 33日	—	18名 72日
その他福祉 実習等	—	—	6名 6日	2名 10日	3名 16日	5名 23日	—	16名 55日
合計	7名 35日	10名 50日	9名 15日	23名 238日	19名 175日	45名 321日	11名 93日	124名 927日

② 移動支援従業者養成研修事業により福祉人材養成に継続して取り組む  
9月13日(土)～15日(月)の3日間で実施 受講者10名 修了者10名  
3月実施計画分は実施体制から中止としている。

③ 施設毎に地域の特色を活かした福祉コミュニティへの参画等（主な取り組み例）

- ・まごめ園：平成26年度から地域力推進馬込地区委員会構成団体として参加  
馬込文士村大桜まつりおよび馬込地区大盆踊りへの参加
- ・のぞみ園：いつつのわふれあい祭り(自治会連合会主催)への参加  
大森第四小、大森第一小4年生を対象とした、障害者福祉に  
ついての出前講座と作業（公園清掃）交流を実施  
2月、大森第四小4年生約100名の作業見学を受入  
大森一中サマーボランティアの受入
- ・つばさホーム前の浦：いつつのわふれあい祭り(同上)への参加  
社福）大洋社ひまわり苑の夏祭り・餅つき大会への参加
- ・さわやかワークセンター：西蒲田二・三丁目自治会防犯パトロール隊の  
一員として月2回町内の防犯パトロールに参加
- ・しいのき園：糺谷地区福祉施設連絡会(自治会連合会主催)の構成団体として参加  
糺谷地区地域防災訓練参加及び同日福祉避難所見学会開催  
糺谷小4年生施設見学・体験受入  
糺谷地区民生委員児童委員協議会施設見学受入  
区福祉管理課主催講習会「白杖・車椅子体験」の会場提供
- ・新井宿福祉園：今年第14回となる大森三中生徒会との「運動交流会」開催  
新井宿地区民生委員児童委員協議会との作業交流  
こどもガーデンパーティー開催会場としての施設開放  
入新井第二小5年生との「作業体験交流」
- ・池上福祉園：池上まちおこしの会(自治会連合会主催)の構成団体として池上土産  
の開発協力や防災活動への参加  
地域ふれあいコンサート(青少年対策池上地区委員会主催)への参加
- ・大森東福祉園：「団地祭(大森東一丁目団地自治会)」への参加  
大森東小2年生及び4年生との交流会
- ・ラナハウス西糺谷：西糺谷二丁目町会災害時要援護者支援委員会への参加

## 6) 法令遵守・情報開示

① 主な法人経営情報の開示について

- ・平成25年度決算関係書類の法人HP掲載（6月実施）。
- ・現況報告書等の開示義務化に伴う法人HP掲載（9月実施）。

- ② 法人指導検査を次の5事業所について受審し、指示事項等に対する改善結果を第5回理事会において審議報告した。
  - ・さんさん幸陽 12/10、
  - ・池上福祉園 12/18、
  - ・新井宿福祉園 1/14、
  - ・大森東福祉園 1/22、
  - ・ケアサポート幸陽 2/5
- ③ 大田区監査事務局による監査が10月28日法人本部において実施された。
- ④ 東京都によるサービス付き高齢者向け住宅に関する都市整備局及び福祉保健局の合同調査があり、ラナハウス西糀谷として1月13日協力を行った。

## 7) 法人単位の経営基盤強化

- ① 新会計基準への移行作業に(株)福祉会計サービスセンターとコンサルティング契約を結んで取り組み、拠点区分等の設定、経理規程の全面改正、勘定科目設定等の作業等を完了した。
- ② 新会計移行後の平成27年度から会計顧問を法人に導入することとし、(株)福祉会計サービスセンターに委託することとした。
- ③ 新会計基準移行に伴い会計ソフトの変更を実施することとし、(株)CIJソリューションズ社のSwing(スイング)を選定した。
- ④ 区内に離れてある事業所間を結ぶIT(情報技術)環境網の基盤整備が課題となり、インターネットVPNの敷設と情報共有ツールの見直しを決定した。インターネットVPNには(株)富士ゼロックス社のビートを選定した。情報共有ツールは、今後の業務の高度化・複雑化に対応できるグループウェアの選定を進めている。
- ⑤ 法人本部規程を制定(H27.4.1施行)し、理事会を補佐するとともに執行機能のとりまとめをおこなう法人本部に関する基本的事項を定め、法人単位の事業経営の効率的推進と責任体制の確立を図った。
- ⑥ 法人事業の見直しについて
  - ・臨海斎場整美部事業：本事業の今後の展開に関する調査研究をさわやかワークセンターに依頼。さわやかワークセンターは検討チームを編成し、事業の継続性について第3回理事会(7月29日)で初回報告を行い、第4回理事会第2回評議員会(10月30日)に議案「臨海斎場整美部事業の法内事業化について」と「検討結果報告書」を提出した。整美部事業の法内事業化とさわやかワークセンター事業の拡充による平成27年度統合を内容とする議案が承認され、実務を進めた。整美部事業の法内事業化によって収益事業が法人から無くなるため、第5回理事会第3回評議員会(3月25日)で定款変更の議決を行った。

・障害者生活ホーム事業：東雪谷生活ホームについて、家主からの返却依頼に応じる見込みが立ったことから閉寮手続きを進め、10月末日を以て閉寮とした。11月から6ユニット（定員29名）の事業となった。

また、複数ユニット下のグループホーム運営方法を学ぶため、10月14日（社福）あだちの里で研修を実施。生活ホーム3名と本部事務局3名合計6名で参加した。

生活ホームの会計点検を法人一体でバックアップする体制を検討し、10月から管理職2名が生活ホーム監査委員の研修を受け、11月以降段階的に4名で会計点検が行えるように取り組んだ。

## 8 リスクマネジメント

・支援係長主任会に「マニュアル・リスク部会」を設置し、ヒヤリハット事例及び事故内容の集計と傾向の分析を試行的に始めた。結果を職員に還元し、現場職員のリスクと安全管理に対する意識を喚起した。

傾向として、利用者間の接触や行動特性による「他傷／行動リスク」の発生頻度が最も高いことが示された。

事実に基づく援助技術の向上及び援助マニュアルへの反映、「リスク」を数値化する工夫と分析方法の改良が課題となった。

・施設損害賠償保険が適用された利用者事故は、法人全体で4件であった。一方、職員の労災適用事故等件数は、法人全体で11件であった。事故の起きないよう環境を整えるとともに、発生時の適切な対応に努めた。

## 9 寄附の受領 5件 2,000,000円

(1)	一般社団法人大森倶楽部 理事長 平林義彰 様	大田区	1,000,000円
(2)	河野 桃弘 様	横浜市	400,000円
(3)	匿名 様	大田区	100,000円
(4)	社福)大田幸陽会後援会会長 松原茂登樹 様	大田区	300,000円
(5)	大田区知的障害者育成会会長 佐々木桃子 様	大田区	200,000円

## 10 会議等の開催

(1)	経営会議	12回（毎月）
(2)	事務担当者連絡会	5回（6月、11月、2月に2回、3月）

- (3) 支援係長主任会  
事務局会議 10回 (8月と1月を除く毎月)  
事業所代表者会議 10回 (同上)  
全係長主任会義 3回 (4月、6月、11月)
- (4) 看護師会 3回 (7月、11月、2月)
- (5) 経営改革検討会  
・本部機能強化作業部会 年16回開催  
・トータル人事制度構築に関するコンサルティング年12回 (毎月)  
・SWOT分析を学ぶ研修会の企画実施3回 (9月、11月、1月)
- (6) 研修委員会 12回 (毎月開催)
- (7) 給食運営委員会 4回 (5月、8月、12月、3月)

以上